

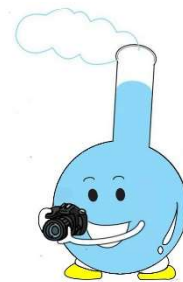
令和4年度 SSH課題研究発表会inアルフォーレ

令和5年2月1日、柏崎市文化会館アルフォーレにて、SSH課題研究発表会を開催しました。昨年はコロナウイルス感染症対策のため、発表者はアルフォーレのホールにて発表、在校生は学校の教室でリモート視聴という形式をとっていましたが、今年度は在校生もアルフォーレに移動し、ホールで発表を観ることができました。発表グループの研究テーマは以下の表の通りです。各グループの発表の後には、在校生から多くの質問が投げかけられ、白熱した発表会になりました。



発表した研究テーマ

文系	柏崎の海の現状とその対策について
文系	伝統芸能の発展、調和、継承のために
文系	LGBTQの人が入りやすいトイレを普及するために
理系1 (数学)	鯛+だしの方程式を探り、鯛に合うだしを突き止める！ ～ホルモール法によるアミノ態窒素の定量による検証～
理系1 (家庭)	立体の魔方陣の製作
理系2 (生物)	ニコチン分解可能な微生物は発見できるか
理系2 (化学)	表面積による消臭効果の違い
理系2 (物理)	簡易霧箱による放射線観察の最適条件
研修報告	韓国研修報告～1年生～
研修報告	韓国研修報告～2年生～



例年、発表する研究グループは理系2だけでしたが、今年度は理系1と文系の研究グループも発表を行いました。理系2よりも研究活動を行った時間は短かったですが、自分たちが見つけた疑問に対する研究活動や考察の内容を堂々と発表できました。さらに、SSH事業の一環で行った韓国研修に参加した生徒による活動報告発表も行いました。

柏崎高校の姉妹校である新道林高校との交流会や、現地の街の様子を動画を流したりしながら紹介してくれました。

